



立志の丘

第39号
R8.1.23
西目中学校
文責：三嶋

令和7年度 由利本荘市

中学生会議で活発に意見交換しました

19日(月)の午後に、由利本荘市の中学校10校から代表生徒各2名の計20名が、由利本荘市役所において「みんなでつくる安心とつながりのある学校生活」というテーマで会議が行われました。今年度も市教育委員会が主催し、***市長をはじめ市議会議員さんたちに見守られながらの会議でした。

本校から2A***さん、2B***さんが出席し、第1部は実際に市議会が行われている議場で西目中の取組を紹介しました。

第2部は正庁に移動し、20名が「多様性を認め合い、互いに尊重する学校」、「SNS・ネットを正しく使い、つながりをひろめる」の議題に分かれ、事前に打ち合わせしたグループで討議しました。そして全体で共有した後、集約したキーワードをもとに各校の実情に応じて実践することになりました。

*市長からは、時代に合ったテーマ設定や討議中の態度・姿勢にお褒めのお言葉があり、中学生への期待が述べされました。***教育長からは、生徒会活動が将来の社会生活や由利本荘市の基盤になるので、生徒会をみんなで高まる集団にしてほしいという願いが話されました。



【2年A組 ***】

今回の中学生会議をしてみて、初めて他校で行っている行事や活動について知ることができました。自分の学校では行っていない活動も多くあったので、参考にして自分たちの学校にも取り入れ、西中生全員が楽しく、メリハリのついた生活を送れるようにしていきたいです。

第2部での「多様性」や「SNS」の課題を生徒会を中心として改善策を練って行動していく、西目中だけでなく由利本荘市全体が改善できるような策を行っていきたいです。

そして、他校の現状も知ることができました。西目中の課題と重なっているところもあったので、改善できる策を探っていきたいです。

【2年B組 * **】

とても充実した建設的な話し合いができておもしろかったです。他校では、他学年や小学校、地域の人々との交流、つながりを深める活動をしていたので、西目中もまねしたいです。今、生徒会が考えているスタンプラリーに使えそうなアイディアがたくさん思い浮かんだので、次の委員会で話し合ってみたいと思いました。私は「SNS」がお題のグループだったのですが、グループの人たちもSNSの問題には頭を抱えることが多いことが分かりました。SNSは生活の一部であり、制限をするのは難しく、生徒会でできることはかなり限られますが、先生たちとも協力し、上手に正しく楽しく使えるものというイメージに変えられたらと思います。

令和8年度前期 生徒会役員選挙告示

19日(月)の給食の間に、選挙管理委員長3A***さんが令和8年度前期生徒会役員選挙の告示を行いました。

これを受けて26日から立候補者を受け付け、2月2日に締め切ります。その後、2月18日に立会演説会と投票を行い、新役員が決定し、令和8年度に向けた活動が始まる予定です。

全国学力・学習状況調査結果

全国学力・学習状況調査の結果については、例年市の概要をホームページ上で公開しておりますが、より多くの市民の皆様の目に触れる目的で平成28年度から各校の学校便りでも掲載しております。

西目中の平均正答率は、国語、数学ともに秋田県平均、全国平均を上回りました。個人票は面談等で配付済みですが、個人や問題の傾向を踏まえ、今後も結果を生かした回復学習に努めてまいります。

令和7年度 本市の全国学力・学習状況調査結果

1 調査の概要

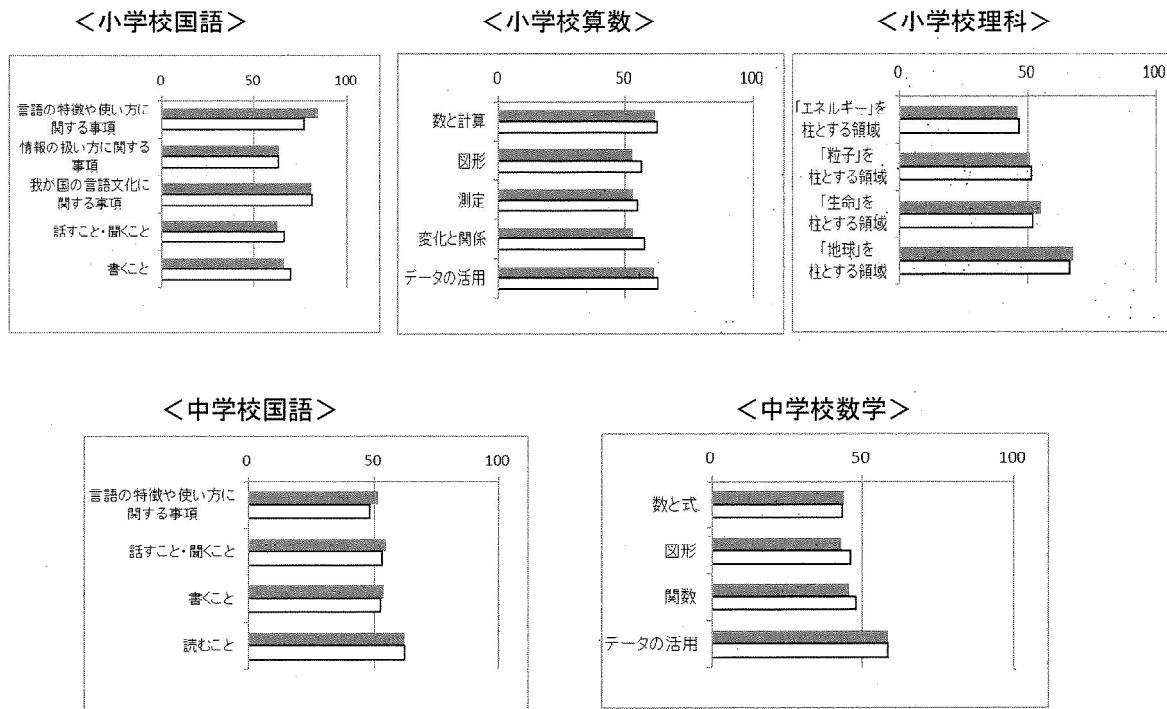
本調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学習指導の改善を図る目的で、平成19年度から実施されています。全国の小学6年生と中学3年生が対象で、今年度は令和7年4月14日から17日に実施されました。

2 調査の内容

調査内容は、小学校は国語、算数、理科、中学校は国語と数学、タブレット端末を利用した理科が実施され、学習指導要領で育成を目指す、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題が出題されました。また、調査する学年の児童生徒を対象とした学習習慣や生活習慣等に関する児童生徒質問紙調査と、各学校の校長が回答する教育環境等に関する学校質問紙調査が実施されました。

3 本市の結果について（授業改善に生かすため、領域ごとにグラフでの比較としています）

■ 由利本荘市 □ 全国



質問紙調査からは、小学校・中学校とともに、地域や社会をよくするために自分が何かしてみたいとの回答が昨年度同様、全国平均を大きく上回っていました。由利本荘市の地域を素材としたふるさと教育が児童生徒によりよく反映されていることが分かる結果となりました。その一方、1日あたりの学習時間は昨年度に続き減少傾向にあります。また、授業でのICTの活用については、4年連続増加していますが、全国と比較すると下回っている状況です。放課後の時間とICTのより有益な使い方について、さらに改善していく必要があります。